

じぶん びょうき
「自分が 病気に ならない」

ひと びょうき
「ほかの人に 病気を うつさない」

びょうき
「病気を ひろげない」

せいかつ
ように 生活するために

ねん がつ にち
2022年 5月 25日

きょうとふ
京都府

かんせん 感染(*1) する ちから 力が 強い オミクロン株の しゅるい 種類が かわって 変わって きて います。それでも 5月9日 がつ にち 頃からは 新しく 病気になる人が 増えて いません。病院に 入院する人や 病気が ひどい人も 減っています。それは 多くの 年をとった人が 3回目の ワクチンを 打っていたからです。

これから 夏になり 暑くなります。外で マスクを 外すことも できるようになります。安心して 仕事や 生活をして いくため 皆さんが 病気になる ないように 気をつけて ください。

また ワクチン接種(*2)を したい人は できるだけ 打ってください。

(*1) <= 病気になること >

(*2) <= 病気になる ないように ワクチンの 注射 を すること >

I 一人ひとりが 病気になる ために

病気を ひろげない ように 生活 していく ために

「自分が 病気になる ない」「ほかの人 に うつさない」

「病気を ひろげない」を いつも 考えて 行動 して ください

1 いつも 気をつける こと

• 部屋の 空気を 外に 出したり 外から 空気を 入れる ・ 手を 洗う

消毒 を する

• 少しでも 熱や 咳がある ときは 病院に 電話を してから 行きます。

一緒に 住んでいる 人は 仕事や 学校など には 行かない てください。

• 自分や 家族が 少しでも 体が おかしいと 思った ときは 一緒に 住ん

でいる 人は だれも 外に 出ない てください。

• 人と 人の 間を 広げる。 大きな 声で 話さない。

自分が 病気になる ために

• 正しく マスクを つける ・ 手を 洗う ・ いろいろな 場所に 置いてある 消毒 を 使う ・

部屋の 空気を 外に 出したり 外から 入れた り する。

• 「三つの 密(*3)」に なる ところへは 行かない てください。 人と 人の 間を 広げる。

大きな 声で 話さない。

• 旅行や 帰省(*4)を する とき ・ 多くの 人が 集まる 場所へ 行く ときは 気をつけて 病気になる ない ための 行動 を して ください。

(*3) <= 空気が 出たり 入ったり しない 場所 ・ 多くの 人が 集まる 場所 ・ 人と 人の 間が 近い 場所 >

(*4) <= 家族や 友だちに 会いに 行く こと >

ほかの人に 病気を うつさなために

・毎朝 熱がないか 体の温度を 計って 熱や 咳があるときには 病院などに 相談してください。

・年をとった人・ 病気がある人・ 周りに 年をとった人や 病気の人がいる人は 病気が うつりやすい場所には 行かないように 気をつけてください。

・会社や 仕事で 病気に 気をつけながら 働くことができるように してください。

年をとった人

病気がある人

家に 年をとった人・ 病気の人がいる人

家で 仕事ができるように したり
仕事に 来る 時間を 変えるなど

病気を ひろげないために

・会社などで ひろげないために

・多くの人に 会わないように するために 家で 仕事をする・ 会社に行く日や 時間を 変える・ 自転車などで 行ってください。

・働く人が 会社に 来たときに 熱がないか 確かめてください。働く人や その家族に 熱や 咳があるときは 仕事に 来ないようにして 病院に 相談してください。

・会社の中で 仕事をする部屋 だけでなく 食堂・ 休憩をする部屋・ 服を着替える部屋・ タバコを吸うところでも 病気が ひろがらないよう 気をつけてください。

・国の法律 (特措法第 24 条 9 項) のお願い。 仕事の 種類に 合わせた 病気を ひろげないための ルールを 守ってください。

・学校・ 保育所などで ひろげないために

・学校・ 保育所などで 病気を ひろげないための ルールを 守って 生活や 送り 迎えをして ください。

・毎朝 子どもが 熱がないか 体の温度を 計ってください。家族や 子どもに 熱や 咳があるときは 学校や 保育所へ 行かないで ください。

・学校などが 休みのときでも 病気になりやすい 行動は しないでください。

・病院・ 高齢者施設(*5)で ひろげないために

(*5) <= 年をとった人が 世話を してもらいながら 住む場所>

・病院や 高齢者施設で 病気を ひろげないために 決められた ルールを 守ってください。

・高齢者施設で 病気が ひろがらないように 働く人は 検査を してください

2 正しくマスクをしましょう

建物の外で 人との間が狭い（2 m以下）場所で 会話を するときには マスクを しましょう

建物の中で 人との間が広いとき（2 m以上）や 会話を ほとんどしない場所は マスクの 必要は ありません

・マスクについて

（※ 2022年5月23日に国の考えが新しくなりました）

	人との間が広いとき (2 m以上)		人との間が狭いとき (2 m以下)	
	建物の中 (注)	建物の外	建物の中 (注)	建物の外
会話を する	マスクを するほうが よい	マスクの 必要は ない ★	マスクを するほうが よい	マスクを するほうが よい
会話を ほとんど しない	マスクの 必要は ない	マスクの 必要は ない ★	マスクを するほうが よい	マスクの 必要は ない ★

(注) 外からの 空気が 入らないところ・建物の中・地下街・電車やバスの 中など

※夏の 暑い季節は 熱中症 (*) にならないために 建物の外の ★場所では マスクを しない
ほうがよい。

(*) <熱中症 = 温度や 湿度が 高い場所に いるうちに 体の調子が 悪くなってしまうこと>

※年を取った人などに 会うとき、病気が ひどくなりやすい人に 病院で 会うときは できるだけ
マスクを してください。

3 飲んだり 食べたり するときの 病気を 広げないための 取組み

飲んだり 食べたり するときには

- ・病気を ひろげないための ルールを 守っている店 (認証店) を 利用しましょう
- ・話を するときには マスクを しましょう
- ・店では 大きな声で 話を しないように しましょう
- ・席と席の 間を 広く しましょう。店に 長い時間 いないように しましょう

※認証店：京都府が 決めた ルールを 守っている店

- ・アクリル板を 置く
- ・店の中の 空気を 出して 外から 空気を 入れることなど

III 京都府は ワクチン接種 (*2) を 多くの人ができるように します

市・町・村と 一緒に ワクチン接種を します

- ・ ワクチン接種を したい人は できるだけ 打って ください。
- ・ ワクチン接種を したい人 (学校に 行ってる 子どもも 受ける ことができます) が 行ける ように 会社や 学校は 協力して ください。

1 若い人への 3 回目の 接種

○ ワクチンの 種類を 選ぶことが できます

- ・ 若い人への ファイザー 接種会場を 市・町・村に 作ります
- ・ 京都タワー 会場で ノバックス を 使った 3 回目 接種が できます
予約は 6 月 1 日 (水) から (接種は 6 月 8 日 (水) から)
- ・ ノバックス 接種を する 病院などを 増やします
* ノバックスは 2022 年 4 月 19 日に 国が 認めた 新しい ワクチンです。武田薬品工業株式会社が 作っています。

○ 接種の 場所や 時間を 増やします

- ・ 若い人が 接種しやすい ように 土曜日・日曜日・夜の 時間の 接種会場を 市・町・村に 作ります
- ・ 「ワクチン接種バス <= バスに 医者や 看護師が 乗っています >」が 大学や 会社へ 行って 接種 できるように します
- ・ 京都タワー 会場に 保育ルーム <= 子どもを 預けることが できる 場所 > を 作ります
6 月 3 日 (金) からの 月曜日・金曜日

2 病気が ひどく なりやすい 人には 4 回目の 接種

(市・町・村)

- ・ 高齢者施設 (*5) で 6 月から 始めます
- ・ 3 回目の 接種の 様子を みて 4 回目の 接種を 始めます

(京都府)

- ・ 京都府は 3 つの 場所 (京都タワー、綾部ルネス病院、京都田辺中央病院) で 4 回目の 接種を します
5 月 26 日 (木) から 予約と 接種を しています

- ・ 4 回目の 接種が できる人 : 3 回目 接種を してから 5 か月が 過ぎた ①か②の人
- ① 60 歳 以上の 人
- ② 医者が 「病気が ひどく なりやすい」と 考える 人